

訪問教育学級の紹介

「訪問教育」とは、障害や病気のため、毎日学校に登校して教育を受けることが困難な児童生徒に対して、学校から教員を派遣して家庭や施設などで授業を行うものです。多くの場合、家庭での個別の学習が中心となりますが、定期的に登校したり学校行事に参加したりして、集団の中で学習することもあります。本校の訪問教育は、宇都宮市及び鹿沼市を学区としています。

<訪問教育の授業内容>

担任が家庭・施設に訪問して授業を行い、児童生徒一人あたりの授業時間は1回2時間(120分)を基本とし、授業回数は週に3回までとなります。

授業では、児童生徒一人一人の健康状態や学習課題を十分に考慮し、保護者と話し合っって個別の指導計画を作成し指導しています。また、季節の行事・ゲーム大会・お楽しみ会・卒業を祝う会等の全体スクーリングや、運動会・のざわ祭・校外学習等の学校行事に参加して集団の中での学習も行っています。

その他、個別のスクーリングを希望される場合は、保護者と相談し児童生徒の健康状態に応じて定期的に登校し、担任と一緒に同じ学年の通学生の教室に入って学習することもあります。

2019/11/30